

第3編 付属資料



小中学校絵画「私たちの住みたいまち」
優秀賞 大島中学校2年 安藤 舞香さん

まちづくりに関する市民意識調査結果

1. 調査の概要

1-1 意識調査の実施概要

平成23年度から平成27年度までを計画期間とする「ひたちなか市第2次総合計画後期基本計画」の策定に向けて、市民の生活実態やまちづくりに関する意識について把握することを目的に実施しました。

(1) 調査の方法及び回収結果

有権者台帳からの無作為抽出により、20歳以上のひたちなか市民3,000名を対象に、平成21年12月2日から平成21年12月14日まで、郵送による配布・回収にて実施しました。

その結果、回収数は1,134通、回収率は37.8%となりました。

(2) 調査項目

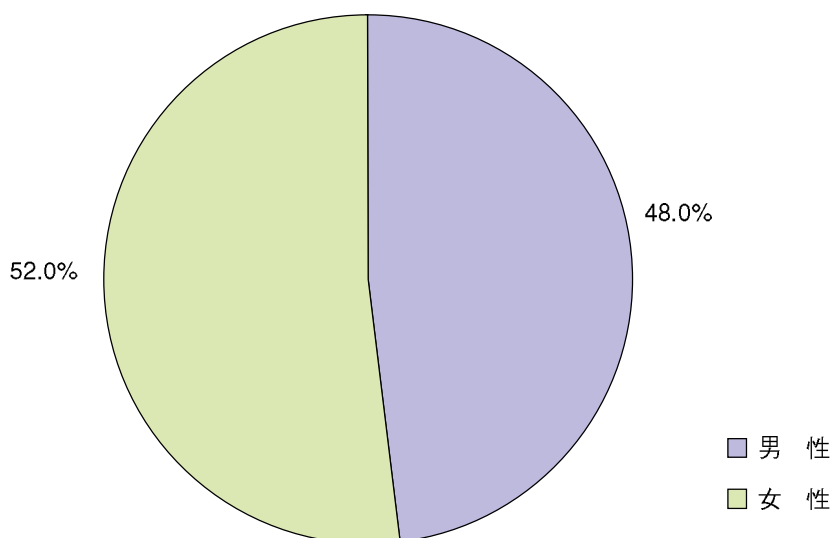
主な調査項目は、以下の通りです。

- ・居住満足度、定住意向について
- ・本市全般に対する評価、現居住地を中心とした生活環境の評価について
- ・本市の将来像、今後重点を置くべきまちづくりについて
- ・本市の土地利用について
- ・市民の地域活動やまちづくりへの参加について

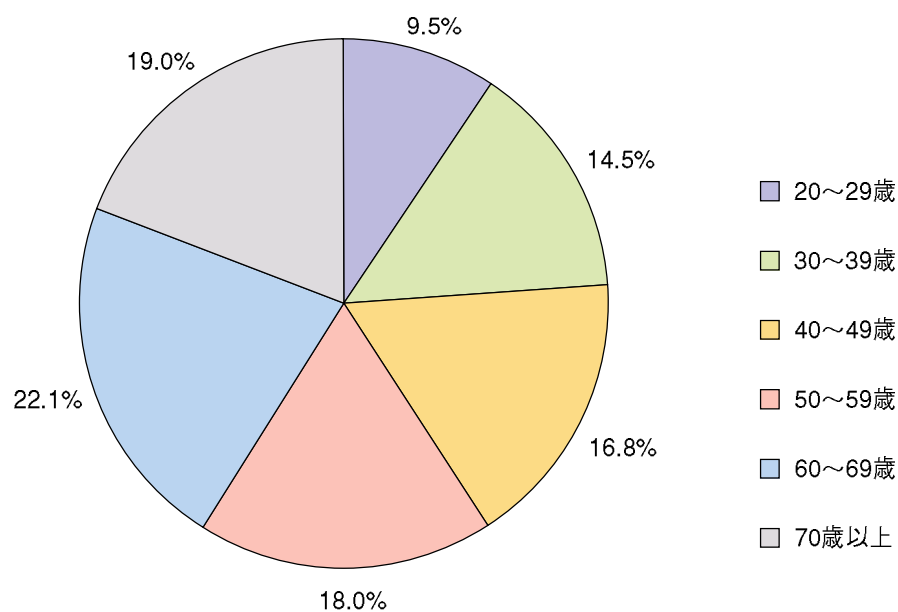
1-2 基本属性

回答者の基本属性は以下のとおりです。

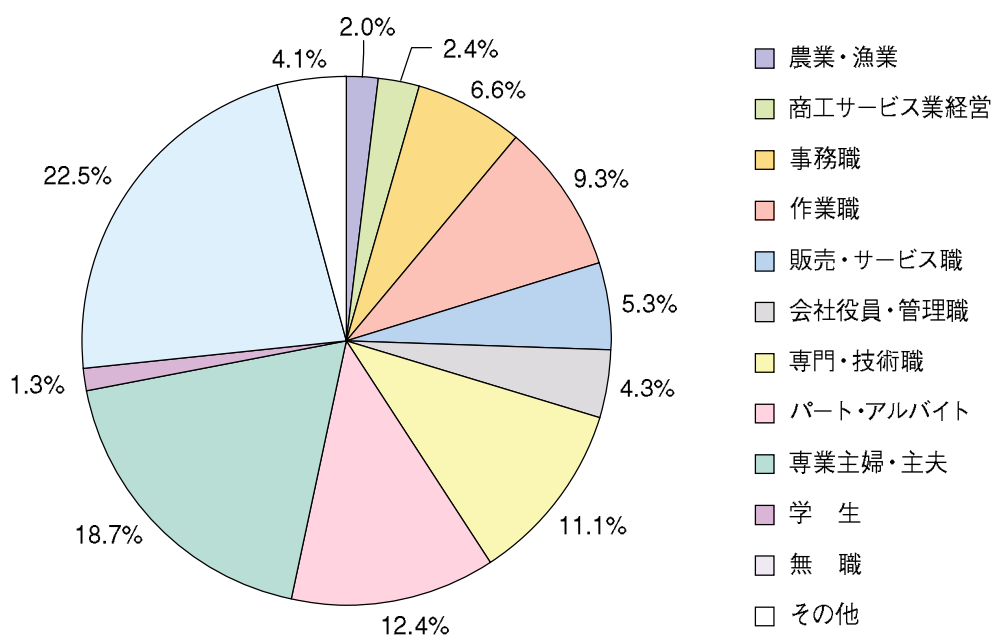
〔A〕 性別



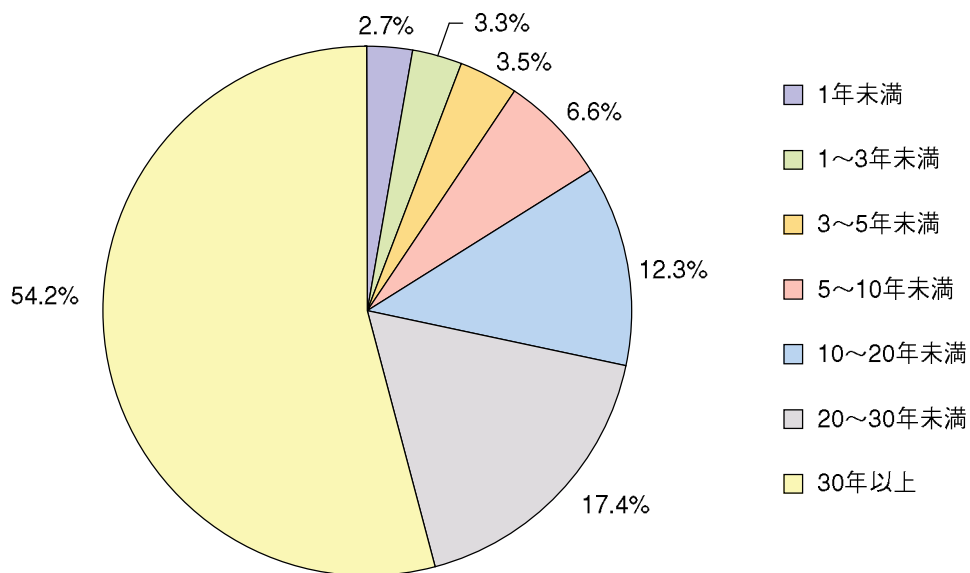
〔B〕 年齢



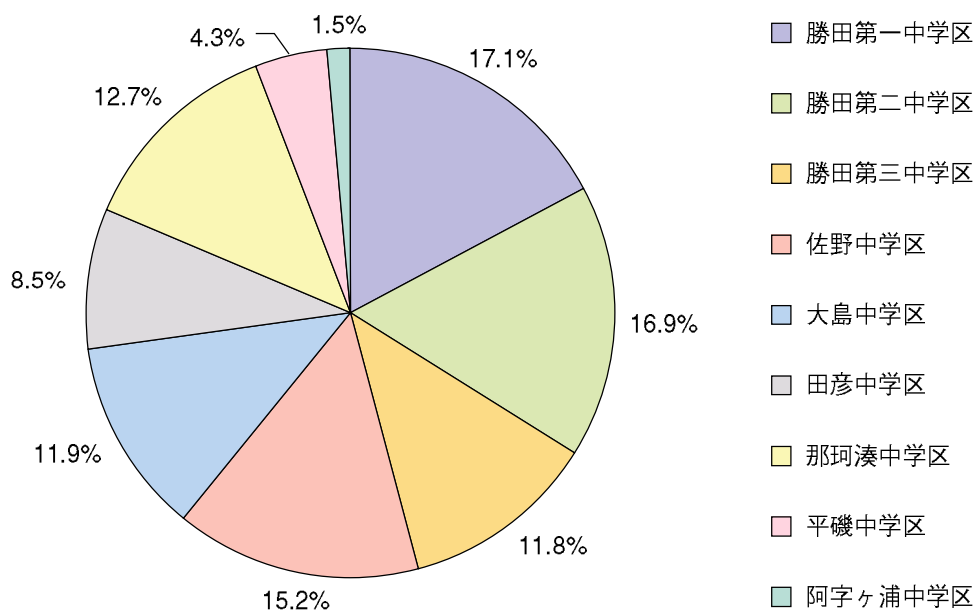
〔C〕 職業



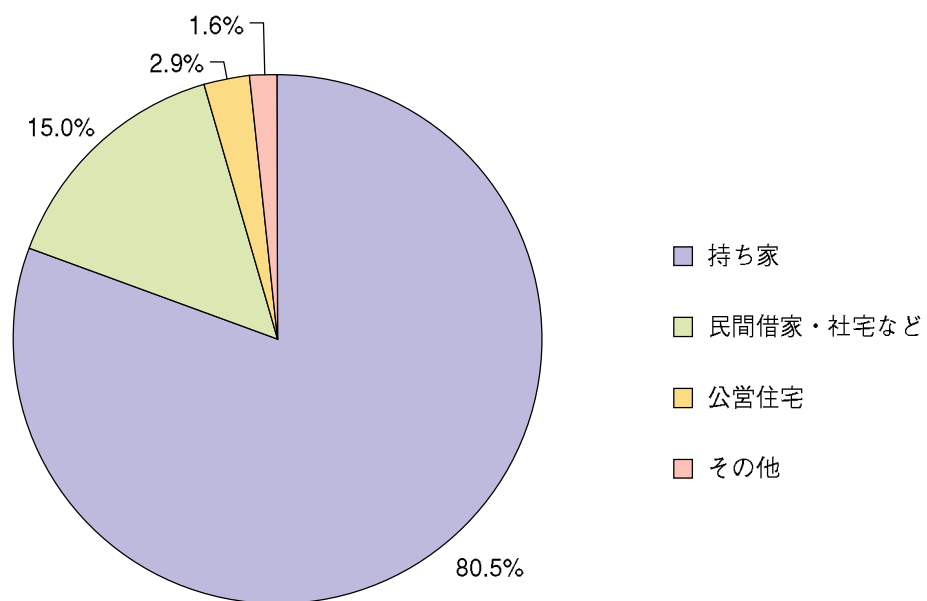
〔D〕 居住年数



〔E〕 居住地区



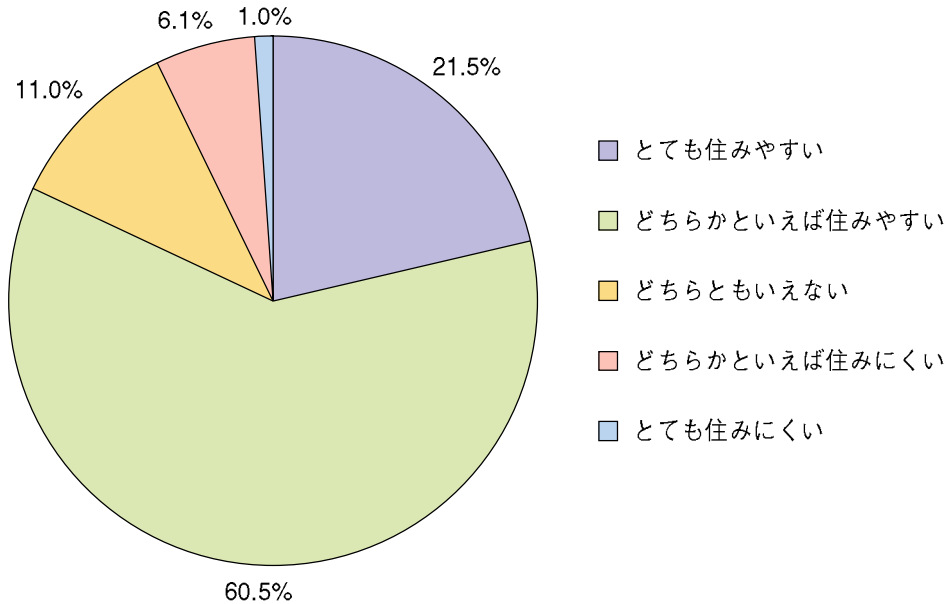
〔F〕 居住形態



II. 調査結果

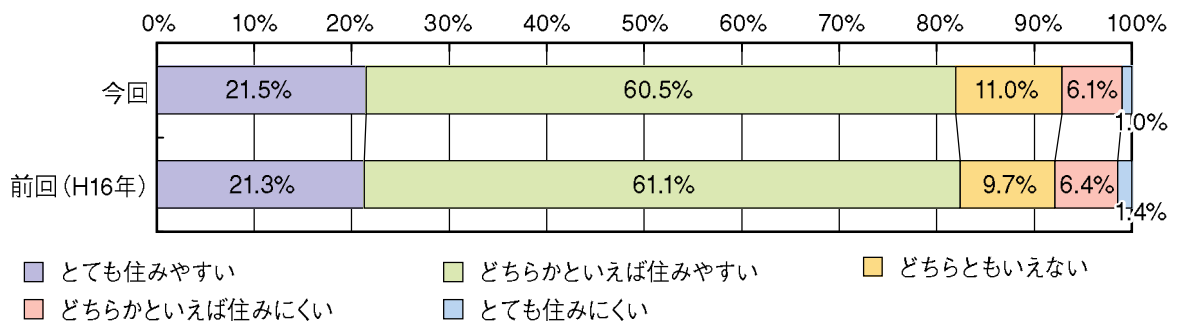
2-1. 住み心地・暮らしの満足度について

問1 あなたは、毎日の生活のなかで、ひたちなか市の住み心地をどのように感じていますか。



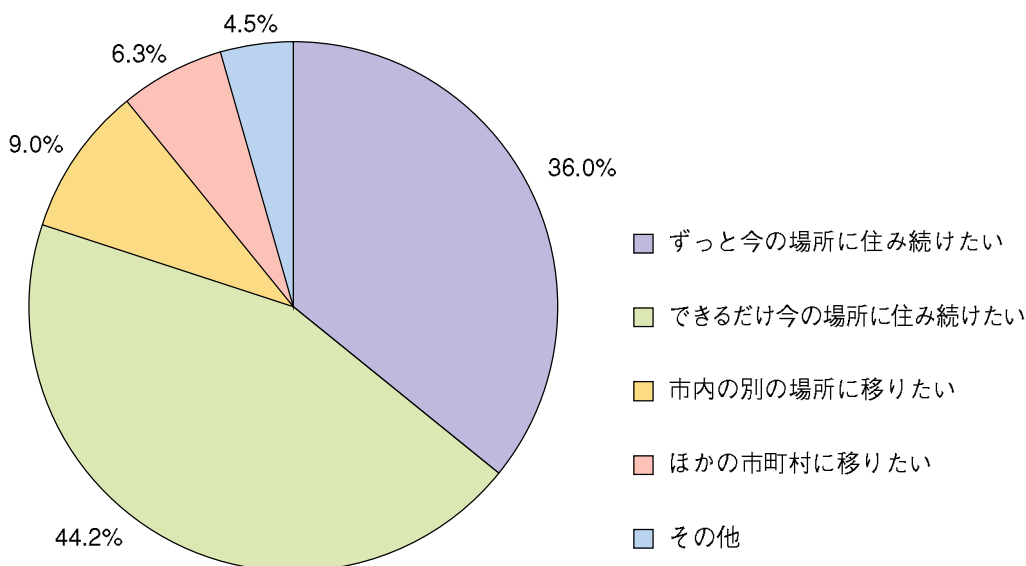
・「どちらかといえば住みやすい」が60.5%で最も高くなっています。次いで「とても住みやすい」が21.5%となっており、これらを合わせ“住みやすい”とする市民が82.0%となります。

●前回（平成16年）との比較



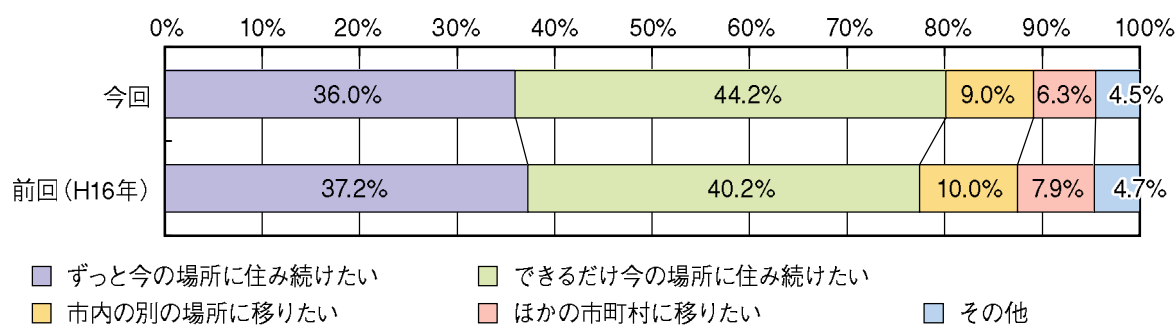
・前回（平成16年）と比較すると、各項目の割合は同水準となっています。

問2 あなたは、ひたちなか市への定住についてどのように感じていますか。



- ・「できるだけ今の場所に住みたい」が44.2%で最も高くなっています。次いで、「ずっと今の場所に住みたい」が36.0%となっており、これらを合わせ“住みたい”とする人は80.2%となります。
- ・一方、「市内の別の場所に移りたい」は9.0%、「ほかの市町村に移りたい」は6.3%で、これらを合わせ“移りたい”とする人は15.3%となっています。

●前回（平成16年）との比較



- ・前回（平成16年）と比較すると、住みたい意向を示す割合は2.8ポイント上昇しています（前回：77.4%）。また、移りたい意向を示す割合は2.6ポイント低下しています（前回：17.9%）。

問3 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。

(単位：%)

項 目	満 足			普 通	不 満		
	とても満足	やや満足	計		やや不満	とても不満	計
ア 防犯対策や治安の状況	6.2	22.3	28.5	57.0	11.9	2.6	14.5
イ 日あたり、静けさ、空気のきれいさ	20.0	33.7	53.7	32.4	11.6	2.3	13.9
ウ 地震や水害等への災害対策	7.6	22.0	29.6	55.3	11.1	3.9	15.0
エ 騒音、悪臭、振動などの公害対策	7.6	24.0	31.6	48.2	16.4	3.8	20.2
オ 緑、河川や海岸など自然環境の保全	7.0	25.3	32.3	51.7	12.5	3.5	16.0
カ まちの美観やまちなみ	3.8	22.5	26.3	54.4	15.9	3.3	19.2
キ 安心して飲める水道水の供給	13.5	29.4	42.9	44.9	9.5	2.8	12.3
ク ごみ処理やリサイクルなどの環境対策	10.5	35.7	46.2	43.6	8.1	2.0	10.1
ケ 下水・し尿の処理状況	12.2	19.8	32.0	44.4	14.9	8.7	23.6
コ 公共交通機関の利用しやすさ	4.5	13.0	17.5	35.3	30.0	17.1	47.1
サ 国道など幹線道路の整備状況	4.3	20.1	24.4	55.9	15.9	3.8	19.7
シ 身近な道路の状況	4.0	14.0	18.0	36.8	32.9	12.3	45.2
ス 駅や中心市街地の整備状況	3.1	14.1	17.2	52.4	24.7	5.6	30.3
セ 公園や広場などの整備状況	2.9	17.8	20.7	52.2	21.5	5.6	27.1
ソ 病院の数や休日・夜間の医療体制	2.7	15.0	17.7	42.4	29.8	10.1	39.9
タ 消防体制・救急医療体制	4.7	18.1	22.8	61.5	12.8	2.9	15.7
チ 高齢者や障害者向けの施設やサービス	2.0	10.8	12.8	63.7	19.8	3.7	23.5
ツ 保育所の整備や保育サービスの状況	2.0	9.3	11.3	70.9	14.9	2.9	17.8
テ 学校施設の整備や教育課程の状況	1.7	9.7	11.4	70.0	15.1	3.5	18.6
ト 図書館の整備や生涯学習活動の状況	3.1	15.0	18.1	63.5	15.9	2.6	18.5
ナ 買い物に便利な店舗や商店街の状況	4.4	21.5	25.9	38.2	27.5	8.4	35.9
ニ レクリエーションやレジャーなど余暇の状況	1.7	11.5	13.2	64.1	18.7	4.0	22.7
ヌ 職場の豊富さ、仕事の機会	1.1	6.0	7.1	50.8	32.3	9.8	42.1
ネ 隣近所とのつきあいや助け合い	4.6	16.3	20.9	64.6	12.0	2.5	14.5
ノ 市報やインターネットでの情報入手の容易さ	4.5	19.4	23.9	63.4	11.1	1.6	12.7
ハ 市民の意見を活かしたまちづくり	1.8	8.8	10.6	64.0	19.4	6.1	25.5

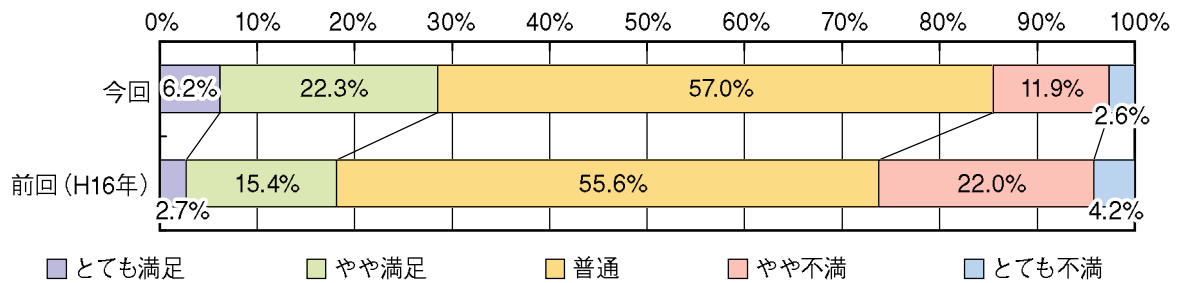
※ : 30%以上

- ・「とても満足」と「やや満足」を合わせた割合が最も高い項目は、「日あたり、静けさ、空気のきれいさ」で53.7%となっています。次いで「ごみ処理やリサイクルなどの環境対策」が46.2%、「安心して飲める水道水の供給」が42.9%となるなど、全26項目のうち6項目が30%を超えています。
- ・一方、「やや不満」と「とても不満」を合わせた割合が最も高い項目は、「公共交通機関の利用しやすさ」で47.1%となっています。「身近な道路の状況」が45.2%、「職場の豊富さ、仕事の機会」が42.1%で続くなど6項目が30%以上となっています。

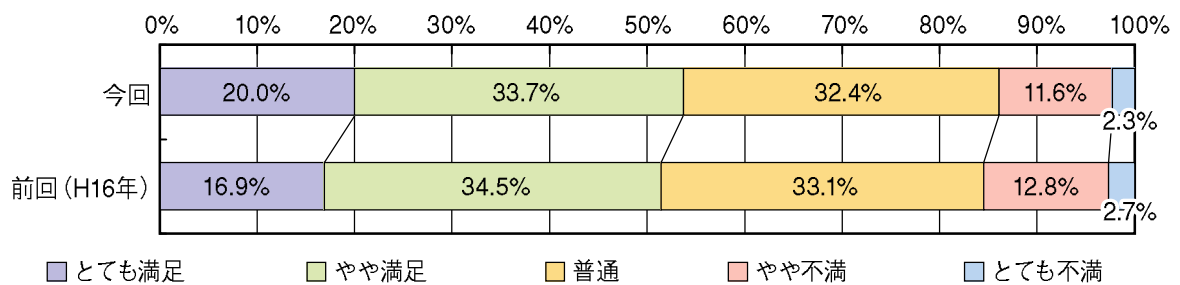
●前回（平成16年）との比較

- ・前回（平成16年）と比較すると、“満足”とする割合が上昇し、“不満”とする割合が低下した項目は17項目となっています。一方、“満足”とする割合が低下し、“不満”とする割合が上昇した項目は、「公共交通機関の利用しやすさ」、「高齢者や障害者向けの施設やサービス」、「買い物に便利な店舗や商店街の状況」の3項目となっています。

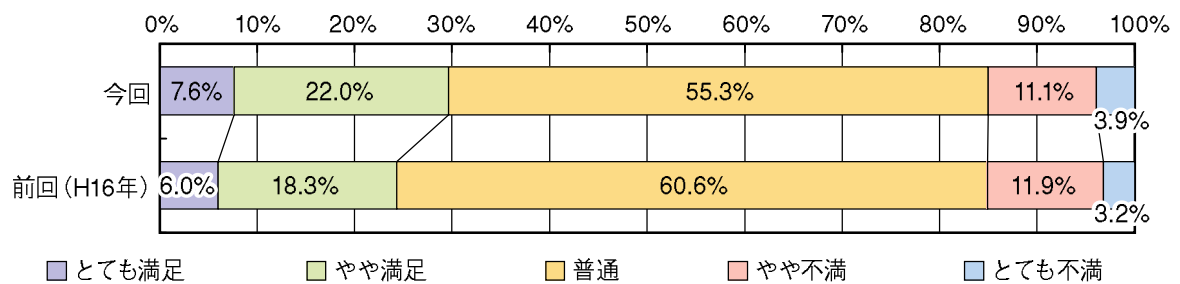
ア 防犯対策や治安の状況



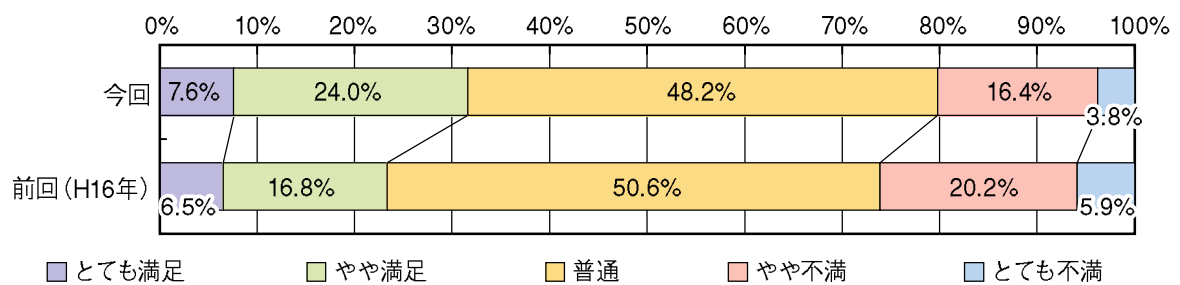
イ 日あたり、静けさ、空気きれいさ



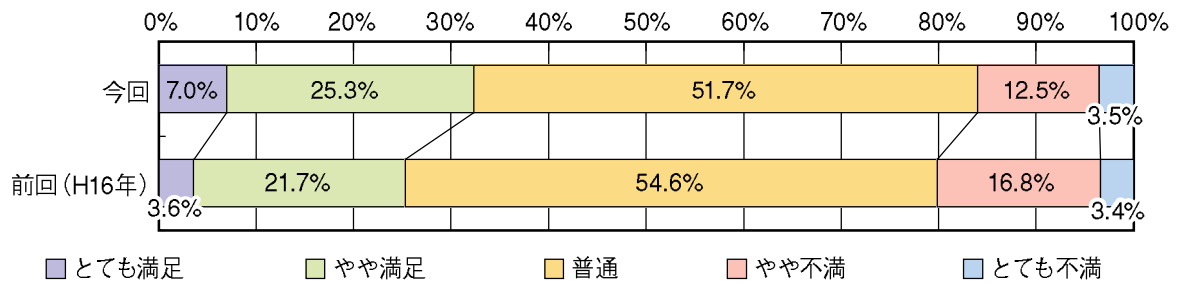
ウ 地震や水害等への災害対策



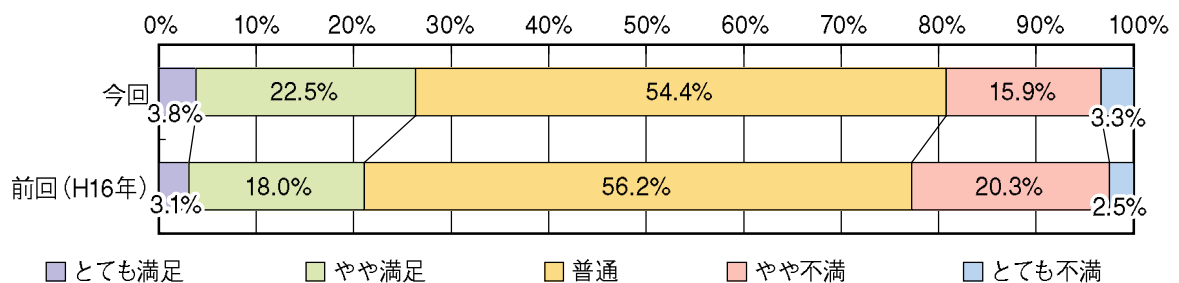
エ 騒音、悪臭、振動などの公害対策



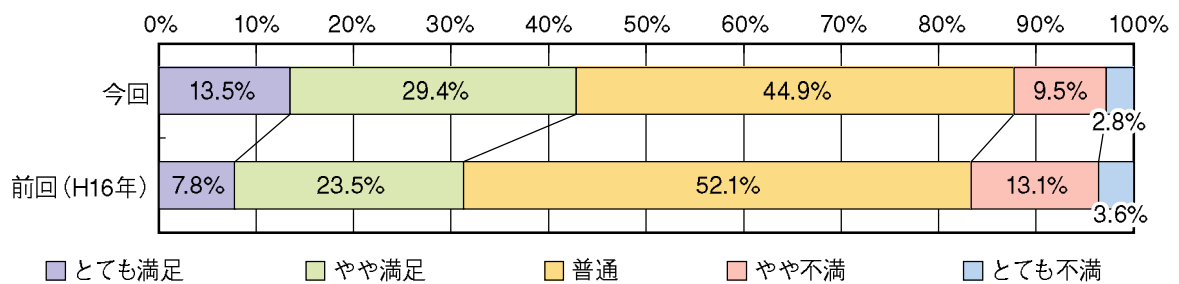
オ 緑、河川や海岸など自然環境の保全



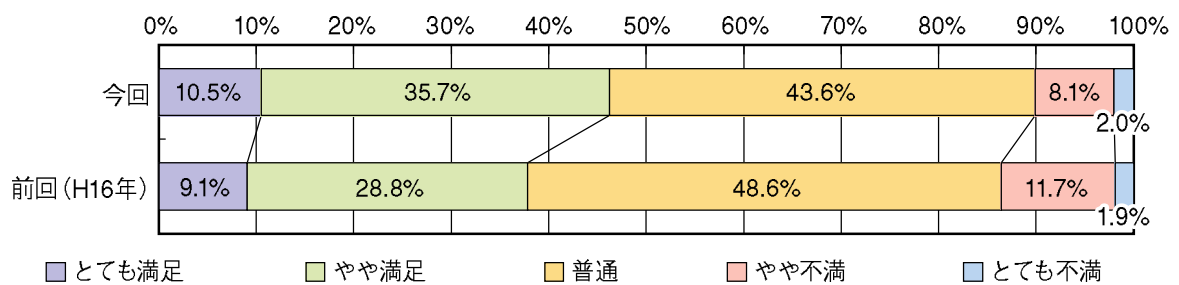
カ まちの美観やまちなみ



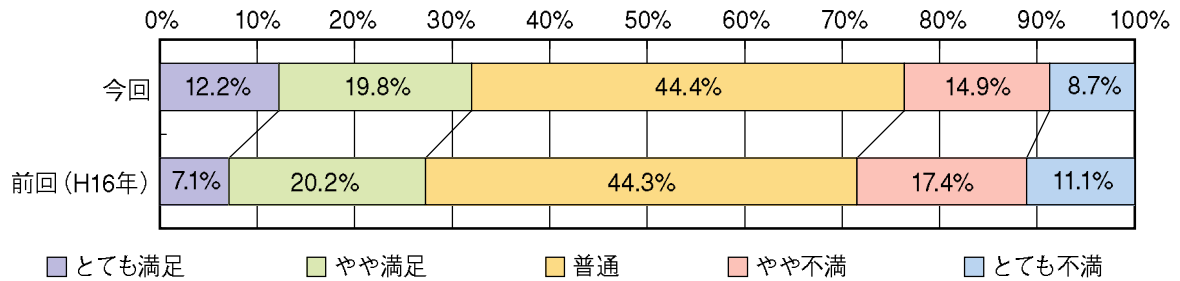
キ 安心して飲める水道水の供給



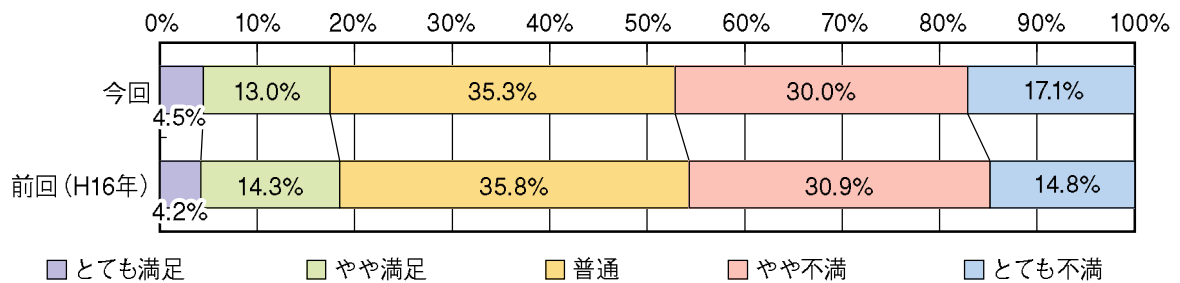
ク ごみ処理やリサイクルなどの環境対策



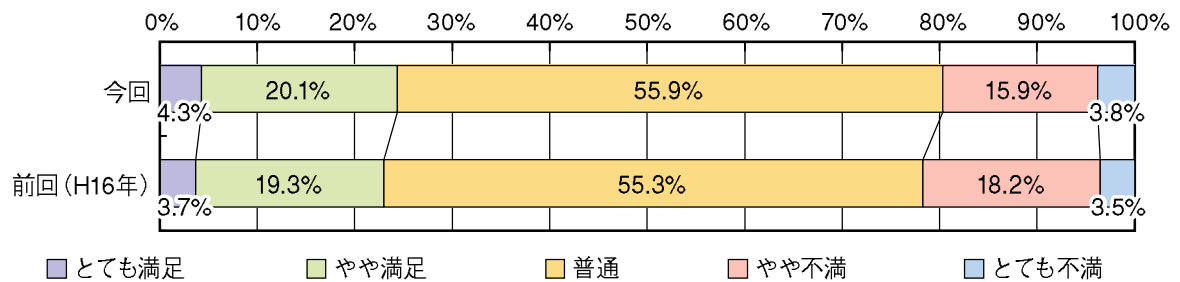
ケ 下水（汚水）・し尿の処理状況



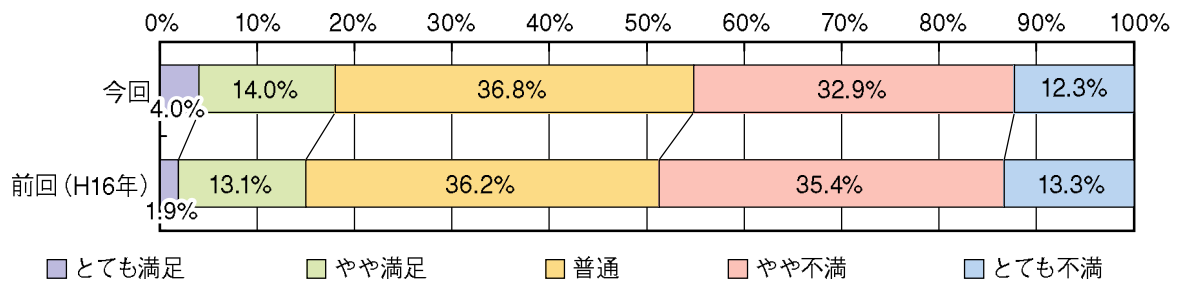
コ 公共交通機関の利用しやすさ



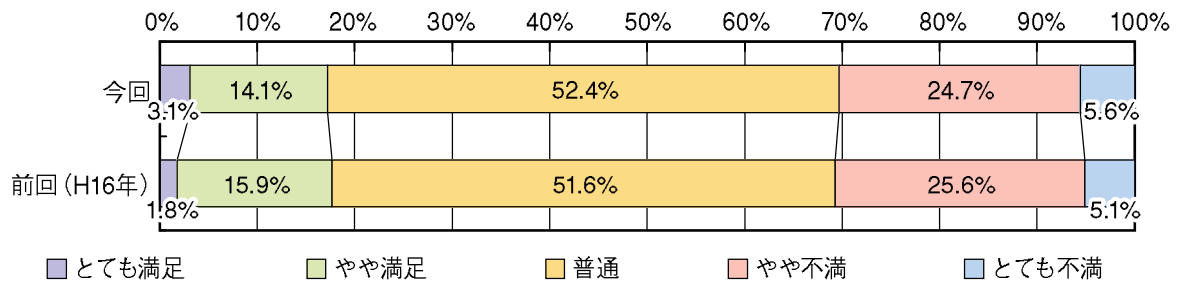
サ 国道など幹線道路の整備状況



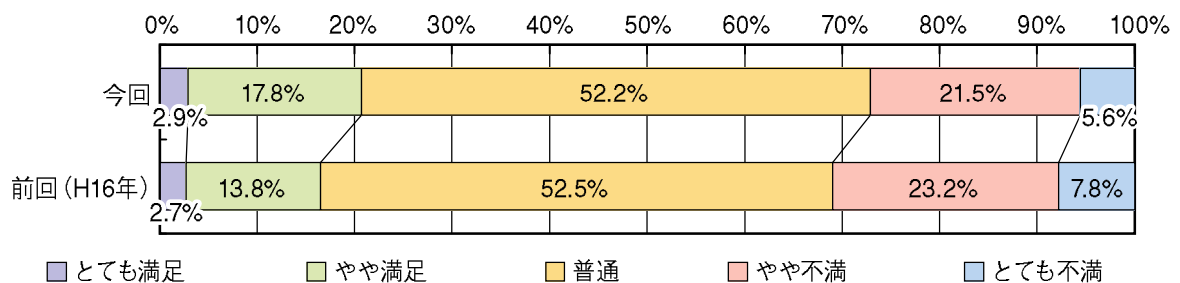
シ 身近な道路の状況（歩道や道幅）



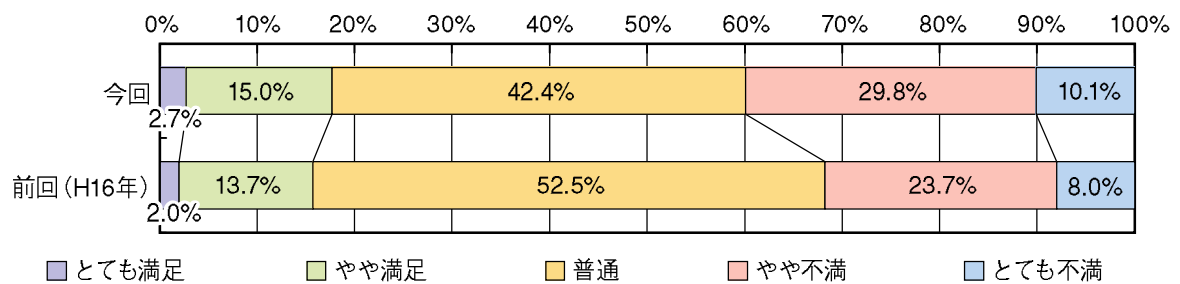
ス 駅や中心市街地の整備状況



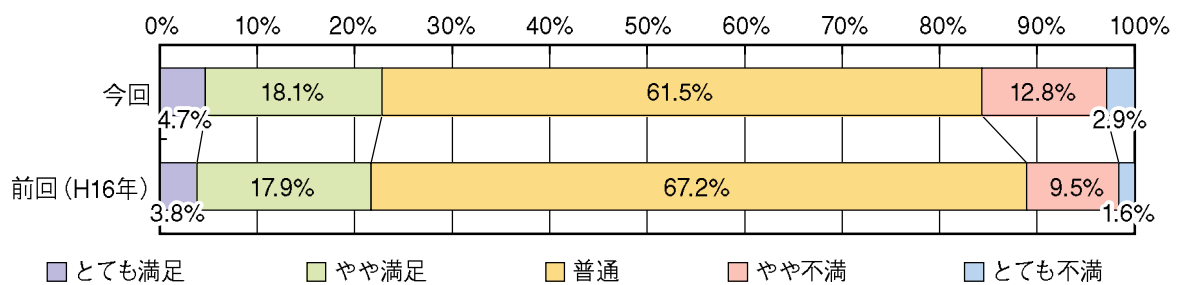
セ 公園や広場などの整備状況



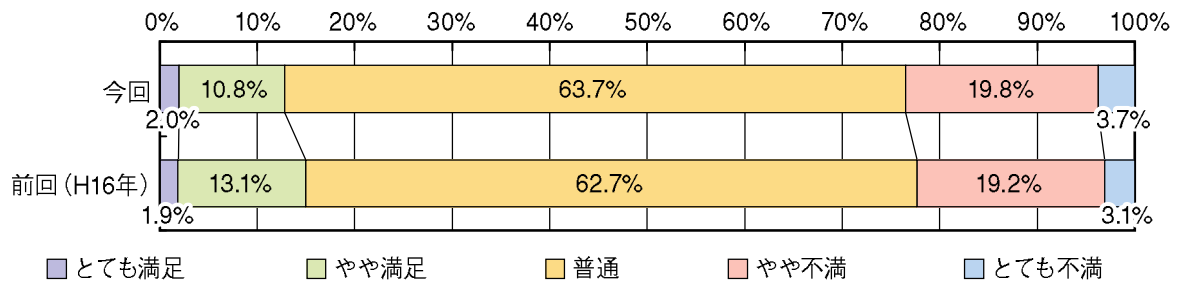
ソ 病院の数や休日・夜間の医療体制



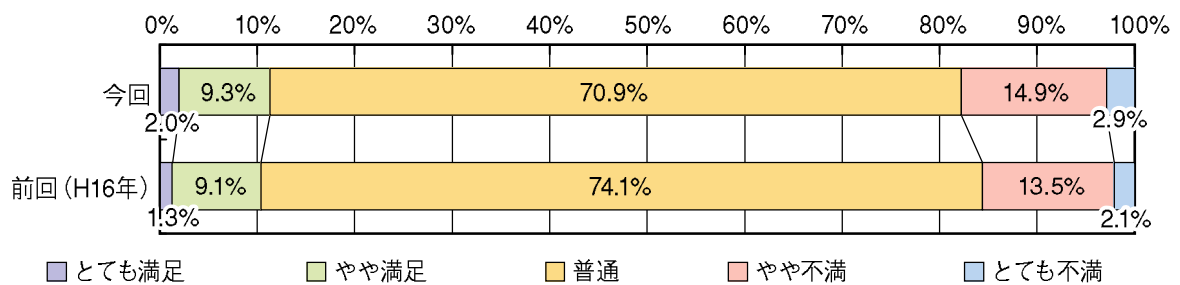
タ 消防体制・救急医療体制



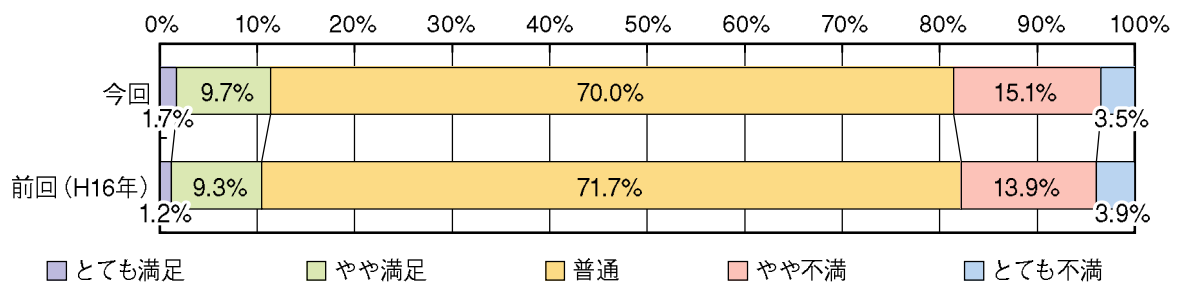
チ 高齢者や障害者向けの施設やサービス



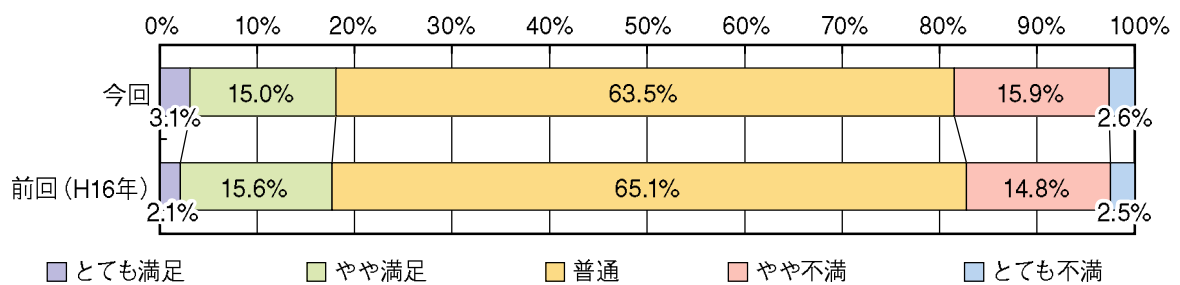
ツ 保育所の整備や保育サービスの状況



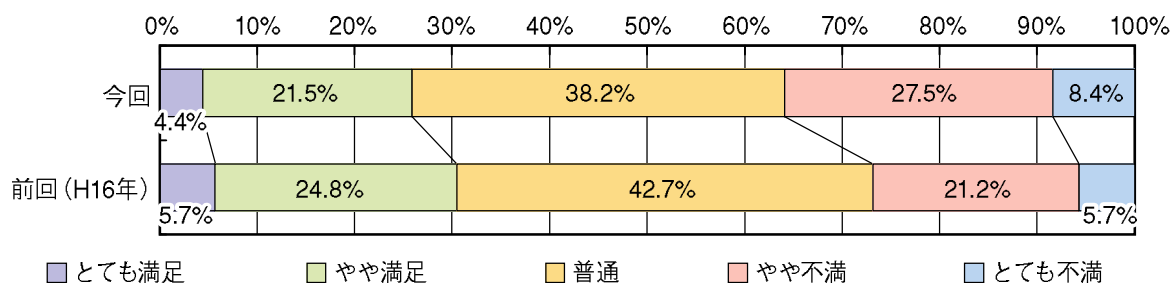
テ 学校施設の整備や教育課程の状況



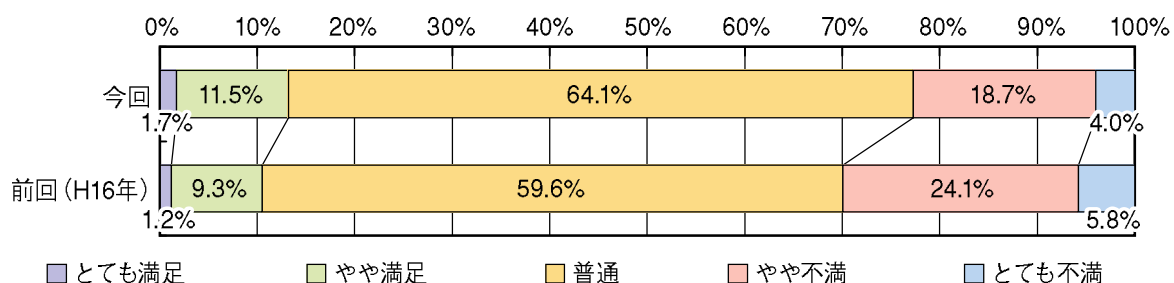
ト 図書館の整備や生涯学習活動の状況



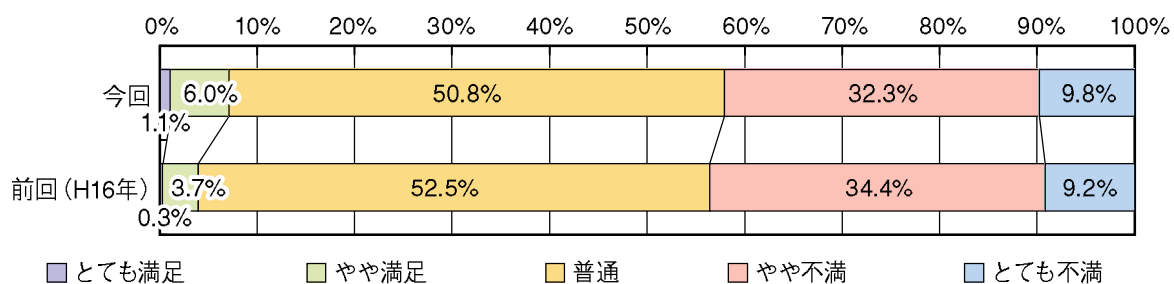
ナ 買い物に便利な店舗や商店街の状況



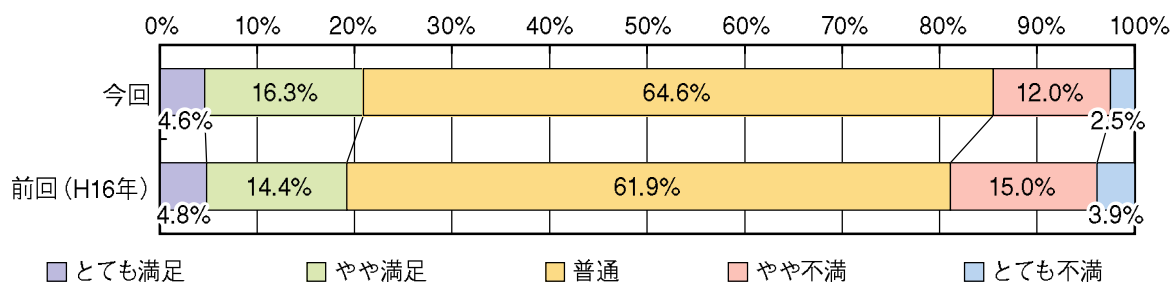
ニ レクリエーションやレジャーなど余暇の状況



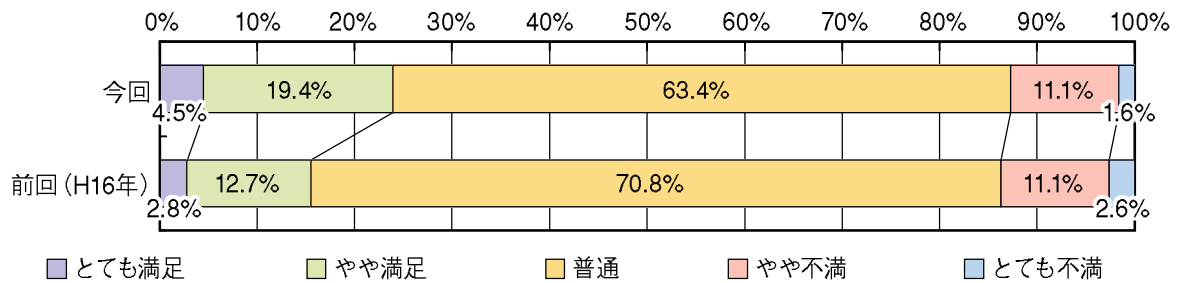
ヌ 職場の豊富さ、仕事の機会



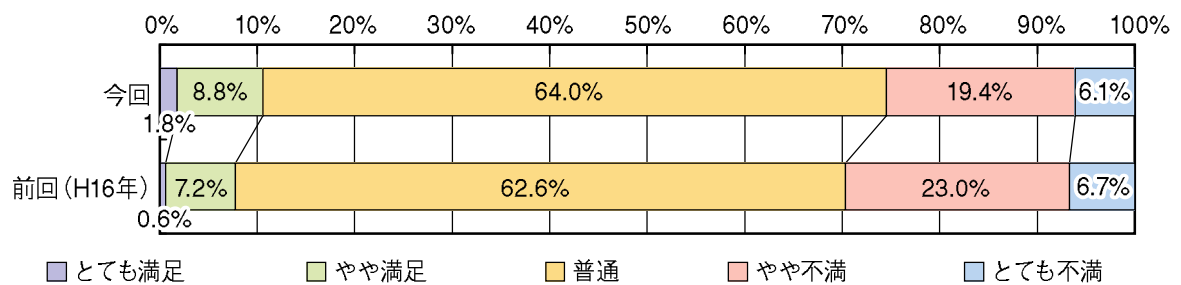
ネ 隣近所とのつきあいや助け合い



ノ 市報やインターネットでの情報入手の容易さ



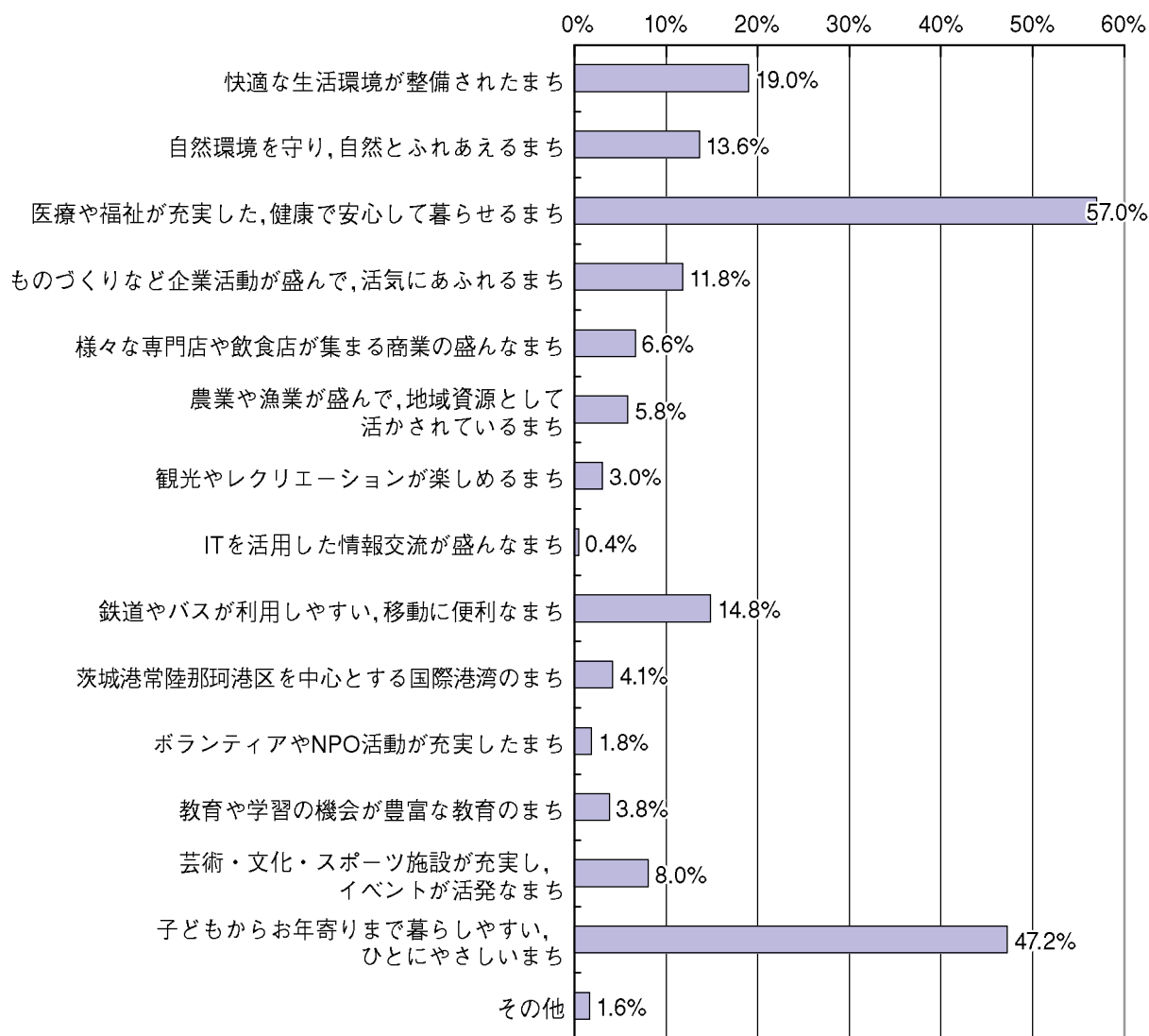
ハ 市民の意見を活かしたまちづくり



2-2. 将来像について

問4 ひたちなか市が今後どのようなまちとして発展することを望みますか。

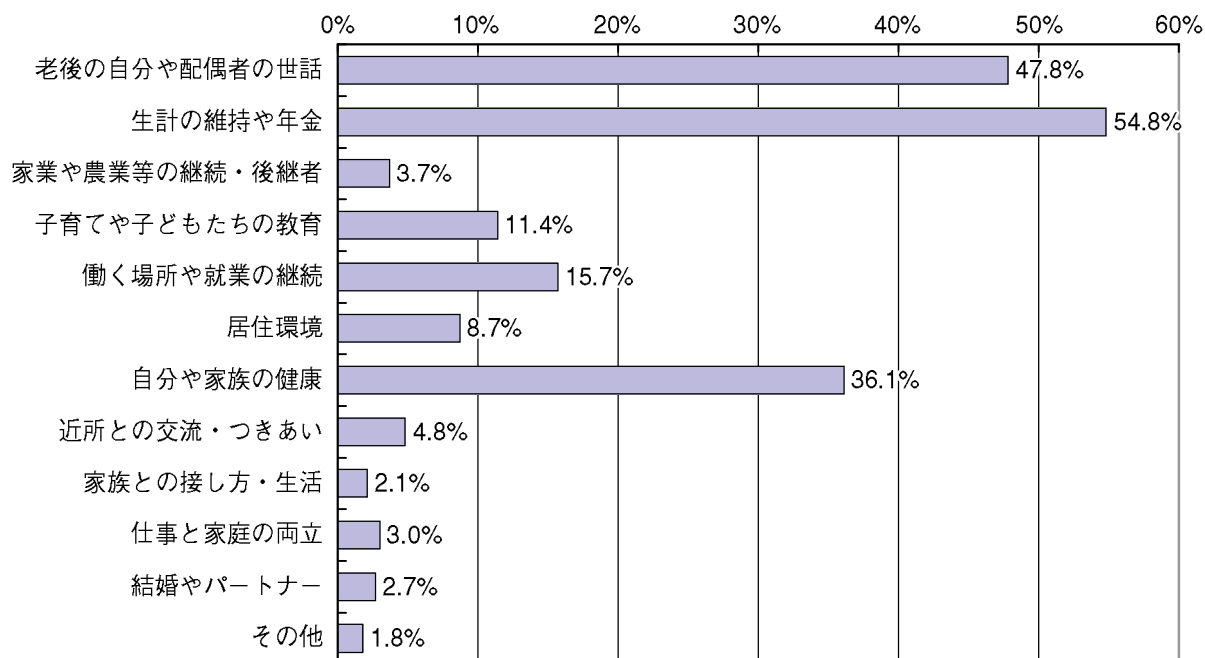
(複数回答可：2つまで)



・「医療や福祉が充実した,健康で安心して暮らせるまち」が57.0%で最も高く,「子どもからお年寄りまで暮らしやすい,ひとにやさしいまち」が47.2%が続いています。

問5 これから先の生活で、あなたがもっとも不安に感じるものは何ですか。

(複数回答可：2つまで)

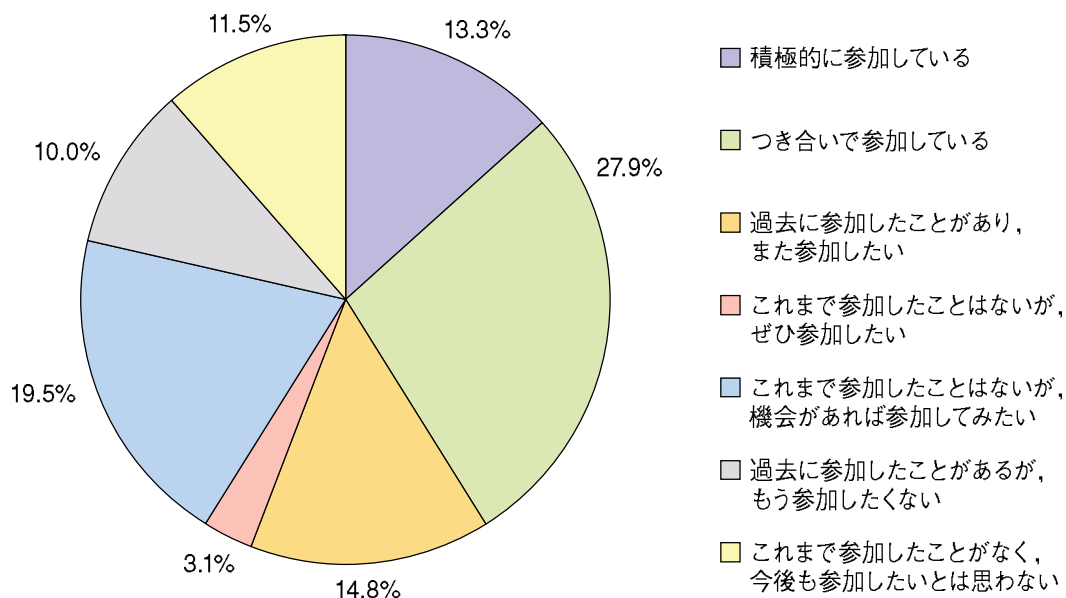


・「生計の維持や年金」が54.8%で最も高く、次いで「老後の自分や配偶者の世話」が47.8%、「自分や家族の健康」が36.1%となっています。

一方、「家族との接し方・生活」は2.1%、「結婚やパートナー」は2.7%、「仕事と家庭の両立」は3.0%でそれぞれ少なくなっています。

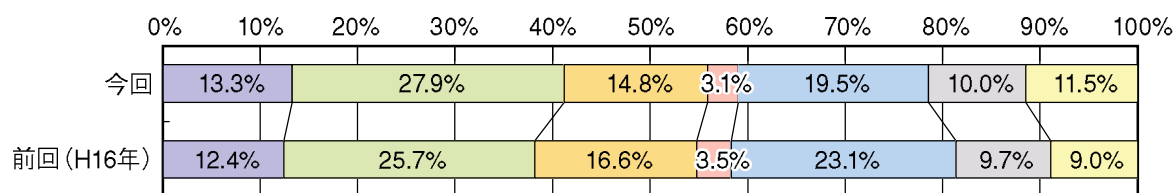
2-3. 地域活動・住民参加

問6 あなたは、地域活動にどの程度参加していますか。



・「つき合いで参加している」が27.9%で最も高く、次いで「これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」が19.5%、「過去に参加したことがあり、また参加したい」が14.8%、「積極的に参加している」が13.3%となっています。この4項目と「これまで参加したことはないが、ぜひ参加したい」の3.1%と合わせると、80%弱の市民が地域活動への参加意向を示しています。

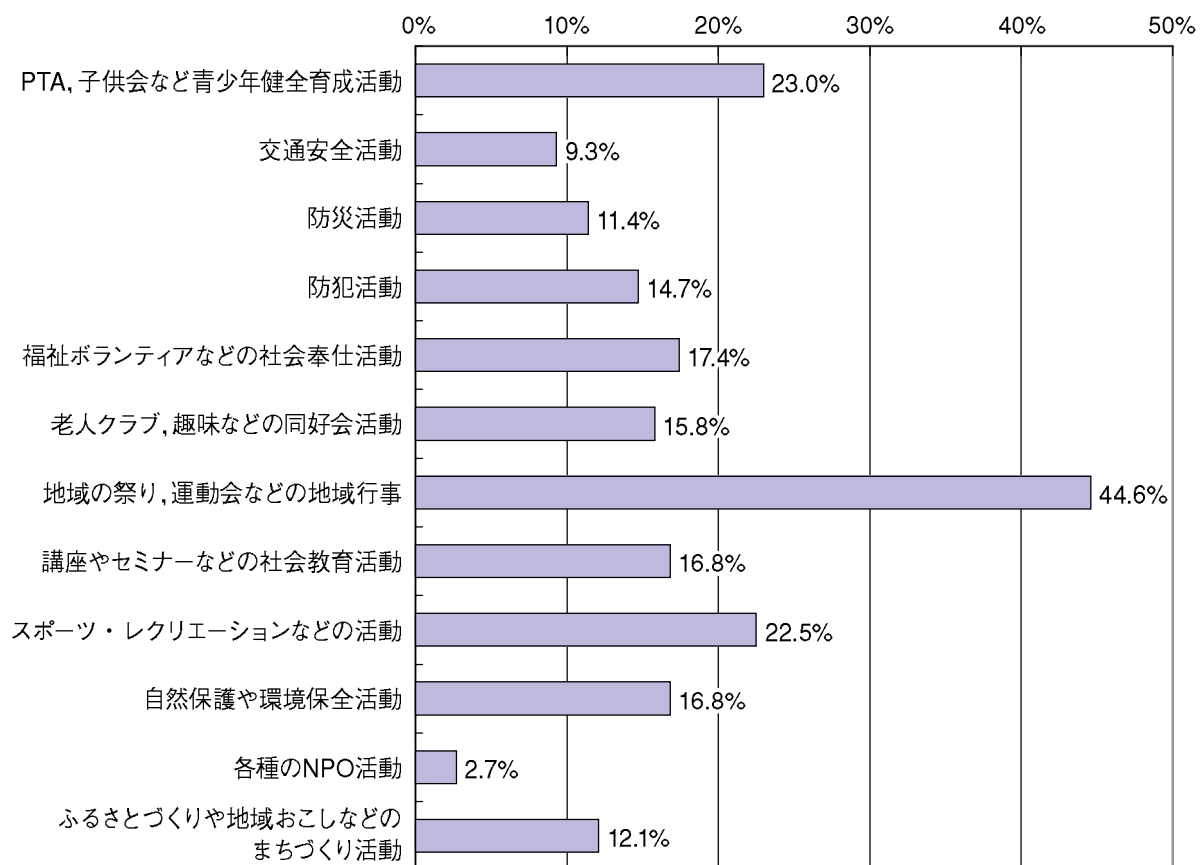
●前回（平成16年）との比較



■ 積極的に参加している ■ つき合いで参加している ■ 過去に参加したことがあり、また参加したい
 ■ これまで参加したことはないが、ぜひ参加したい ■ これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい
 ■ 過去に参加したことがあるが、もう参加したくない ■ これまで参加したことがなく、今後も参加したいとは思わない

・前回（平成16年）と比較すると、「積極的」及び「つき合い」で地域活動に参加している市民は3.1ポイント上昇しています（今回：41.2%，前回：38.1%）。一方、「過去に参加したことがあるが、もう参加したくない」と「これまで参加したことがなく、今後も参加したいとは思わない」を合わせ不参加の意向を示す割合は2.8ポイント上昇しています（今回：21.5%，前回：18.7%）。

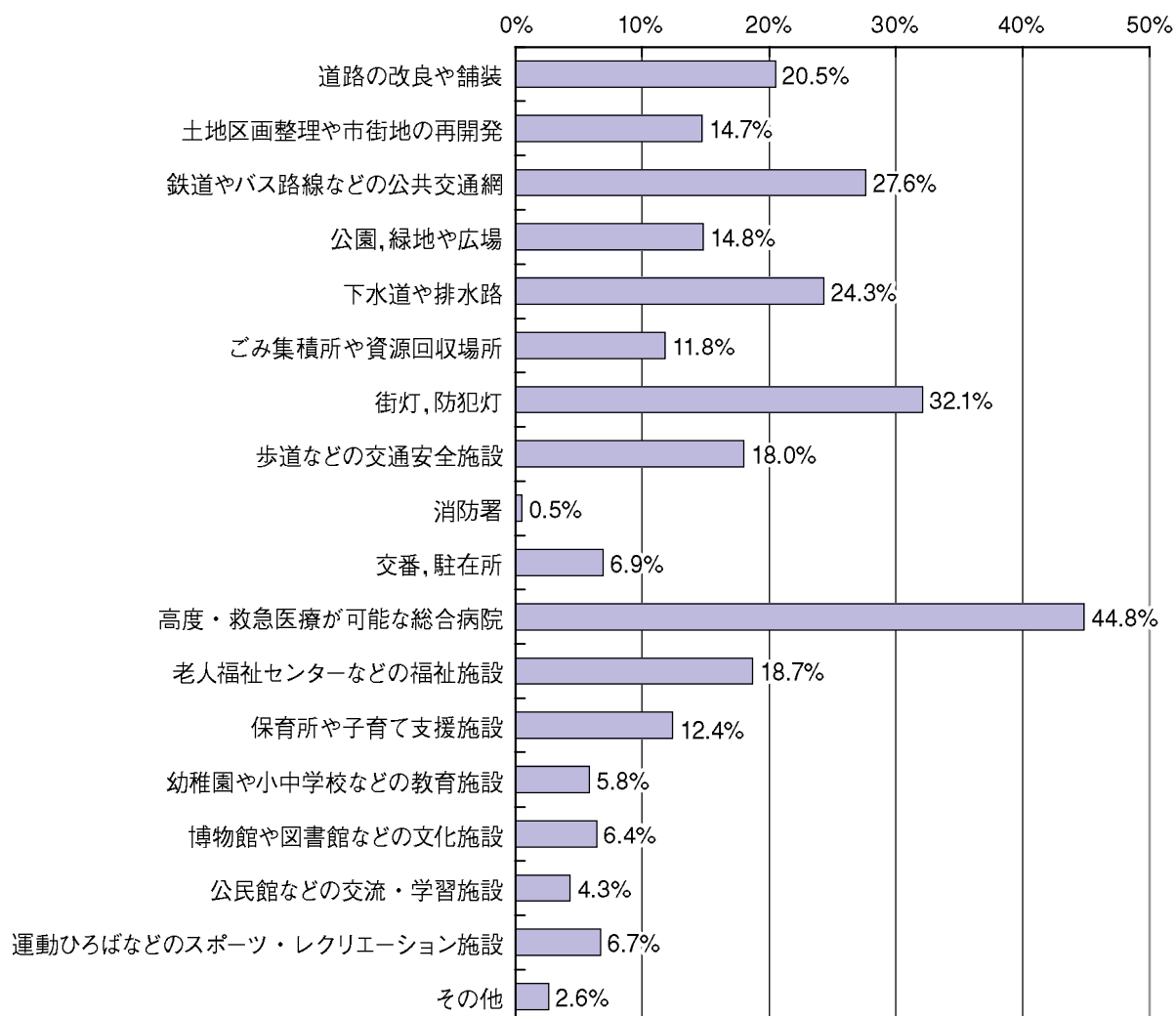
問7 具体的には、どのような地域活動に参加、または参加を希望していますか。
 (複数回答可：すべて)



- ・「地域の祭り，運動会などの地域行事」が44.6%で最も高く，次いで「PTA，子供会など青少年健全育成活動」が23.0%，「スポーツ・レクリエーションなどの活動」が22.5%で続いており，「福祉ボランティアなどの社会奉仕活動」など5項目が15%前後となっています。
- ・一方，「各種のNPO活動」は2.7%で低くなっています。

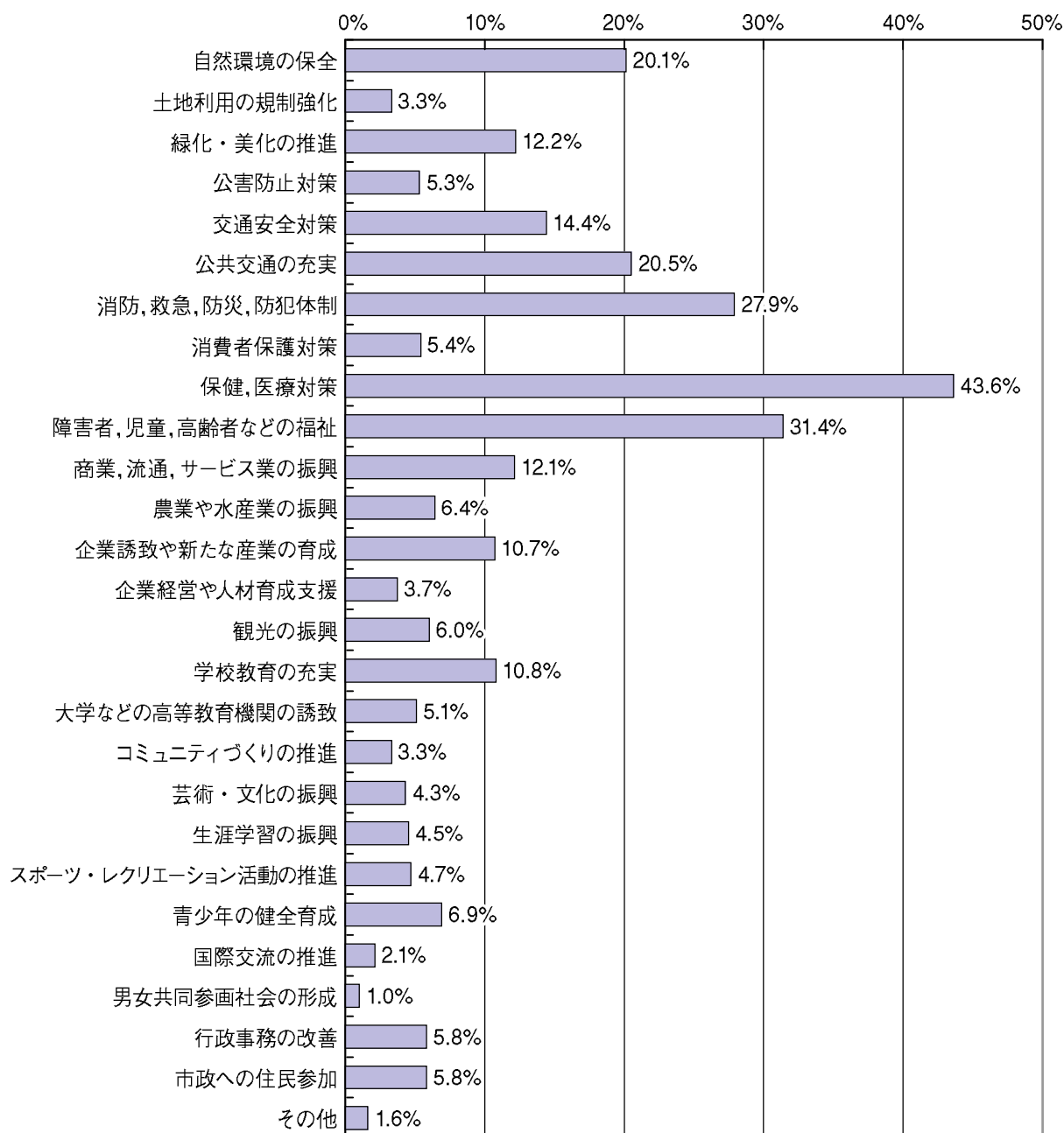
2-4. 望まれる整備・施策

問8 あなたの身近をみて暮らしやすいまちづくりを進めるうえで、これから整備が必要だと思われる施設は何でしょうか。(複数回答可：3つまで)



- ・身近な整備要望では、「高度・救急医療が可能な総合病院」が44.8%で最も高く、次いで「街灯, 防犯灯」が32.1%、「鉄道やバス路線などの公共交通網」が27.6%となっています。
- ・一方、「消防署」は0.5%、「公民館などの交流・学習施設」は4.3%で低くなっています。

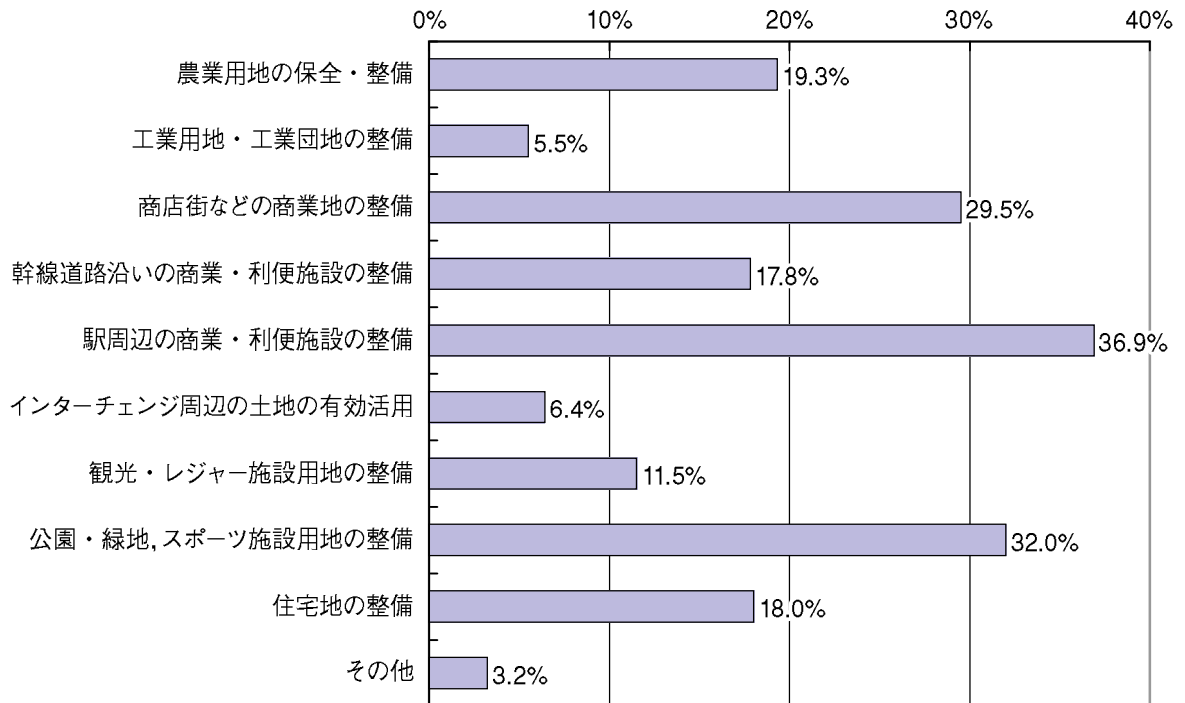
問9 あなたの身近をみて暮らしやすいまちづくりを進めるうえで、これから力を入れてほしいと考える施策は何でしょうか。(複数回答可：3つまで)



- ・力を入れてほしい施策分野については、「保健, 医療対策」が43.6%で最も高く、次いで「障害者, 児童, 高齢者などの福祉」が31.4%、「消防, 救急, 防災, 防犯体制」が27.9%、「公共交通の充実」が20.5%となっています。
- ・一方、「男女共同参画社会の形成」は1.0%、「国際交流の推進」は2.1%、「コミュニティづくりの推進」は3.3%で低い結果となっています。

6. 土地利用

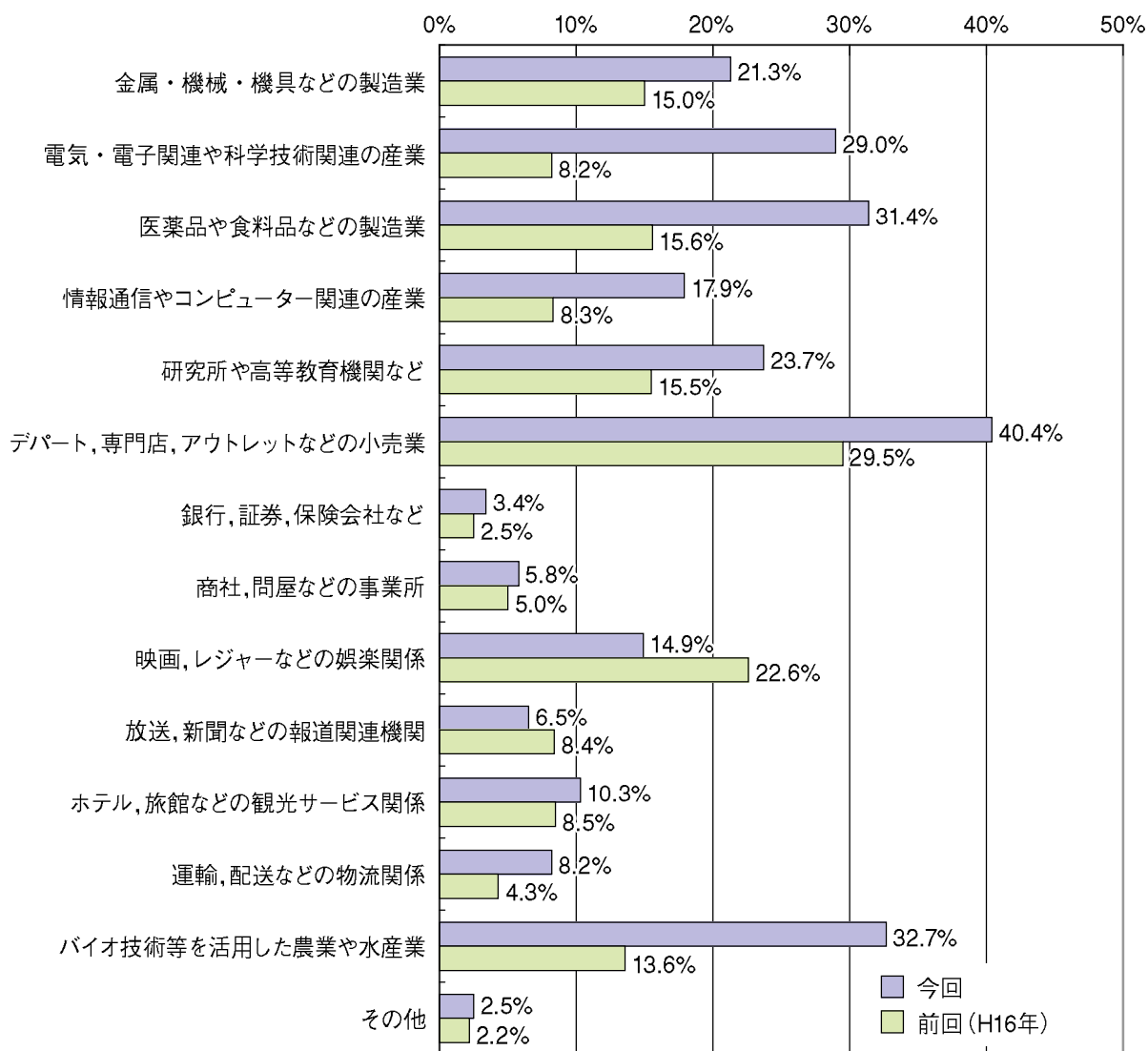
問10 今後、優先的に進めていくべき土地利用は何だと考えますか。(複数回答可：2つまで)



- ・「駅周辺の商業・利便施設の整備」が36.9%で最も高く、次いで「公園・緑地, スポーツ施設用地の整備」が32.0%, 「商店街などの商業地の整備」が29.5%となっています。
- ・一方, 「工業用地・工業団地の整備」は5.5%, 「インターチェンジ周辺の土地の有効活用」は6.4%で低くなっています。

7. 産業・就労

問11 まちの活性化のためには、就業の場が必要ですが、あなたはどのような産業や業種があればよいと思いますか。(複数回答可：3つまで)



- ・「デパート、専門店、アウトレットなどの小売業」が40.4%で最も高く、次いで「バイオ技術等を活用した農業や水産業」が32.7%、「医薬品や食料品などの製造業」が31.4%となっています。
- ・一方、「銀行、証券、保険会社など」は3.4%、「商社、問屋などの事業所」は5.8%で低くなっています。
- ・前回（平成16年）と比較すると、14項目のうち12項目で上昇し、特に「デパート、専門店、アウトレットなどの小売業」など回答割合が高い上位4項目は、10ポイント以上上昇しています。